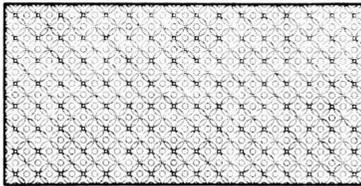
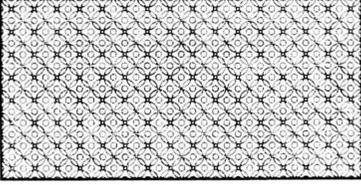


会報

No. 4
1984.6 発行



京都府図書館等連絡協議会



事務局
京都市左京区岡崎成勝寺町9
京都府立図書館内
TEL (075) 771-0069



私の出会った本

——文庫本二つ——
峰山町教育長 河田秀夫

「ホイットマン詩集」

新潮社 昭14・9版

昭和十四年十一月、私は霞ヶ浦海軍航空隊に入隊、疾病により除隊帰郷し、傷心・悶々鬪病、蟄居の日々を送っていた。
この時、年上の女性から、ひと言の慰めの声も、添え文もなく送られてきたのがこの詩集である。
赤茶けたこの文庫本の表紙裏に、散文詩まがいの読後感らしい一文が細かく書きなぐられている。今読みかえして見ても、何を訴え何を書こうとしているのか解らないが、「死」とか「生」「埋葬」「亡骸」という文字が異常に目につく。到るところに傍線が附されている中で、次の詩には、赤、黒の線が交錯するように附されている。

『見知らぬ人よ、若し通りすがりに私に遇って
私に話さうと希うなら
何故、汝は私に話しかけないのか
そして私は何故、汝に話しかけないのか』

自殺するかも知れない、十五歳の

少年に、民主的詩人といわれるホイットマンの詩集「草の葉」を贈ってくれた女性の心根は、今もわからないが、私はこの詩集を何度も読みかえし心をいやした事はたしかである。

ホイットマンは、一八一九年五月三十一日の生れである。五月三十一日、それは私の誕生日である。

「人国記」 世界社 昭23・6版

峰山町立図書館の開館（昭和二十六年七月）間もない頃である。或先輩から「読んでごらん」と手渡されたのがこの人国記である。

旧人国記は、著者不詳だが、天正元年（一五七三年）以前のものとあり、新人国記は元禄十四年二月、伊藤仁斎の弟子、関祖衡の著になるものである。旧人国記が戦国武将の間に、戦略虎の巻として秘読され、新人国記は徳川幕府二百七十年の政略治国の指針に供されたものであろう。共に本邦六十六国二島の人情風土が克明に記されている。新人国記は丹後人をして「当国の風俗は、上下男女ともに万人の内一人も好人なし。

不直にして気弱く、却って勇氣は寡し、適、勇あれば邪智多し……と説く。まことに救いがたい酷評である。

私は、生粋の丹後人である。これを裏書きする人間であつてはならない、と時にふれ脳裏をかすめる。

今、前者は、私の書齋（？）の一隅に、後者は町立図書館の郷土資料室に所蔵されている。

◀ 今年度最初の理事会が五月十日、府立図書館で、新しく選出された理事によって開催されました。
協議事項は、五十八年度最後の理事会の協議結果を引き継いで、五十八年度事業報告・決算報告、五十九年度事業計画（案）及び予算（案）、会則の一部改正、表彰規程にもとづく表彰職員について協議した結果、ほぼ提案どおり承認され、定期総会に諮られることになりました。
なお、定期総会については、五月二十五日府立図書館で開催されることになりました。

また、今年度の役員選出では、互選の結果、澤田会長が再選され、副会長に中西俊夫氏が選出されました。今年度の役員と表彰職員は別掲のとおりです。

五月二五日、府立図書館において総会が二〇館二七名が参加して開かれました。

澤田会長の挨拶のあと、事務局より昭和五八年度事業報告・収支決算報告が行なわれ、次いで協議会として初めての会計監査報告が真継監事によって報告され、すべて承認されました。また、昭和五九年度事業計画・

京都府図書館等連絡協議会 定期総会開催

1984年度

(案)予算(案)が提案され、いずれも原案どおり承認されました。

今年度の事業としては、読書週間の文化講演会を初め、実務研修が三回から六回にふえて、先進図書館の視察研修、図書館の実地研修、従来の実務研修会を行なうことになりました。また、京都の日本図書館協会々員と館種を超えた館員との交流会を開催することになりました。

会則の改正では、理事会、総会など会議に関する事項、分担金に関する事項など、会則の整備が図られました。

なお、役員のうち監事については、橋本実氏と竹中宏氏を選出し、顧問

として新たに、安井茂京都府立総合資料館長が推挙され、三名となりました。総会終了後、今年度の図書館等職員

の表彰が行なわれ、その功績が讃えられました。また、府立図書館所蔵のOHPによる影絵の実演を行いました、全日程を終了しました。

▼会長挨拶

五月十日の五十九年度第一回理事会におきまして、会長の大役をいただくことになりました。

京都府内の公共図書館は、各自自治体の文化活動の振興施策の充実につれて、年々整備されはじめて、昨年八月には加茂町の南加茂台公民館に図書室が、今年四月には久美浜町に図書館が各々開設されました。さらに今秋には、向日市と宇治市に市立図書館が誕生することになっております。京都各地で図書館活動が活発に展開されはじめて、図書館が気軽に利用できる施設として住民から評価されるようになりました。協議会ではこの機会に、さらに組織を充実させたく思っておりますので、何卒よろしくご支援の程をお願いいたします。

第27回実務研修会のお知らせ
内容・京都府立総合資料館見学
昭和59年6月29日(金)午後一時半

▼役員等は左記のとおりです。

- 会長 澤田 種治 (八幡市立八幡市民図書館)
- 副会長 中西 俊夫 (宮津市立図書館)
- 理事 幾山 哲夫 (城陽市立図書館)
- 田口 政広 (向日市立図書館)
- 石浦 喜八 (京北町中央公民館)
- 高木 茂 (園部町立園部図書館)
- 牧野 英男 (綾部市図書館)
- 田中 義一 (峰山町立図書館)
- 土田 羊一 (京都市東山図書館)
- 高木多喜男 (京都府立図書館)
- 橋本 実 (福知山市立図書館)
- 竹中 宏 (宇治市民図書館)
- 岡田 勲 (京都市中央図書館)
- 安井 茂 (京都府立総合資料館)
- 浜辺 一彦 (京都府立図書館)
- 土田 羊一 (京都府立図書館)
- 相互協力委員会委員長 高木多喜男
- 事務局長 渡辺 勲
- 事務局員 福知 襄
- 藤田 周子 (京都府立図書館)
- 顧問 岡田 勲
- 監事 橋本 実



昭和五十九年度表彰者

- 黒坂 紘一 (京都府立総合資料館)
 - 千頭 徳子 ()
 - 山崎 隆男 (京都府立図書館)
- ()内は推薦館名です。敬称略。

にゅうす・ニュース・News



久美浜町立 図書館オープン

久美浜町では、寄贈や購入などによって約八千冊の図書を所蔵していましたが、これを町民の利用に供するために、昨年から町立図書館開設の準備を進めてきました。

去る四月六日、移転した久美浜町にある「久美浜中学校」の校舎を一部整備して町立図書館として発足いたしました。

＊個人貸出 一人二冊

二週間

＊開館時間 週一回(当分の間)

午後一時～

五時

＊蔵書冊数 約八千冊

〇七七八一

＊電話 二一〇三三二

宮津市立図書館 日曜開館

宮津市立図書館では、昭和三十年代の前半まで日曜開館をしていましたが、日曜日は屋外に出てスポーツなど野外で休養をとることの方が望ましいという、教育委員会の意向もあって、日曜日の開館を取り止めておりました。

最近、日曜開館を希望する声を多く聞くようになり、また、中学生はクラブ活動などで日曜日以外は利用できないなど、諸情勢の中、図書館協議会においても早い機会の日曜開館について協議されました。

本年度予算で日曜開館のための経費が計上され、四月から日曜開館ができることになり、これにともない休館日は左記のとおりに変更されました。

＊毎月第三日曜日 ＊毎月末日

＊年末年始 ＊祝日

＊蔵書整理期間(夏期七日間)

歯と健康ブック展 木津町立図書館

六月四日の虫歯予防デーを機会に歯の健康と、心身の健康について考えようと、今年も「第二回歯・健康ブック展」を開催しました。

虫歯予防についての絵本や健康食

館長の異動

京都府立総合資料館長
新安井 茂美
旧 田中 三美

京都市左京図書館長
新 谷本 守行
旧 宮原 章行

京都市右京図書館長
新 宮原 章行
旧 有川 勝見

京都市南区図書館
新 堤 昭郎
旧 野崎 恒郎

舞鶴市立西図書館長
新 福井 幸雄
旧 荻野 義雄

向日市立図書館長
新 田口 政広

※向日市中央公民館に
代わり市立図書館が
協議会に加盟しまし
た。



OH P 影絵(既成品) 購入しました

第二六回実務研修会で好評を博したOH Pの既成フィルムを購入しました。影絵で有名な藤城清治氏の作品をはじめ全十一点で、日本・外国の昔話などがあります。BGMや語りの入ったレコード付きです。

出版社の日本教図によると再版はしないということです。

利用等についてのお問い合わせは、

京都府立図書館まで

(〇七五 一七七一 〇〇六九)

京都府立総合資料館が 「京都府資料目録」を発行

京都府立総合資料館では、開館二十周年を記念して、二年前から作業を進めていた「京都府資料目録」ができ上がりました。この目録は昭和四十三年三月に発行された「京都府資料所在目録」の改訂新版にあたり資料館と京都大学など市内の主要大学が所蔵する、一万八千七百一点についてまとめて刊行されたもので、京都の地域研究に役立つものと思われま

す。なお、この目録の編成作業において、初めてコンピュータが使われた点に、図書館の目録を発行するところから注目されています。

目録は府下市町村や公共図書館、教育機関などに配布され、府民や研究者で入手希望の方に実費(一万円)で販売しています。

● 研修研究委員会

今年度の研修研究委員会では、左記の事業を行なう予定をしております。昨年と異なる点は、実務研修会が三回から六回に増えた点で、中身の濃い研修会となるように努力していきたいと思っております。

研修研究委員会については、六月上旬に各加盟館から推薦していただき、六月下旬に第四回目の委員会を開催し、左記の事業について協議する予定であります。

なお、第27回目の実務研修会は、先進図書館の視察研修を予定しておりますので、ふるってご参加下さい。

昭和59年度事業（予定）

一、研修事業

(イ) 読書週間文化講演会

(ロ) 図書館等職員実務研修会(六回)

(ハ) 図書館等の視察研修

二、研究グループの育成

(イ) 児童奉仕

(ロ) 貸出

(ハ) 全域網

(ニ) 小図書館の運営

三、日本図書館協会々員との交流会
四、その他委員会が必要と認めたる事業

専 門 委 員 会 ニ ュ ー ス

● 相互協力委員会

地域住民から、各図書館によせられる情報要求は、実に種々なものがあり、各館ではいろいろの工夫をさされていることでしょう。

しかし、所蔵資料などの制約があり、必ずしも十分なサービスができないのが実情だと考えられます。この要求にこたえるため、各館が少しずつ力を出し合い、協力すればかなりの部分が解決されます。

相互協力委員会は、昨年に引き続きこの方向に向かって頑張ろうと意気込んでいますので、ご協力をお願いします。

今年度は、先日配布しました逐次刊行物調査を集計、分析して役立つものに仕上げるとともに、相互協力の可能性を探っていきたくと思っています。

これを柱としながら、各館の不要資料の相互交換、資料の相互貸借、図書館ネットワークなどのテーマの勉強を進め、京都府における相互協力計画の策定に向けた活動を着実に進めたいものです。

各館におかれましても、日常の事務に追われて大変だと推察していますが、相互協力の重要性を認め、委員の推せんを心待ちにしています。

◆ 全国図書館大会全容決まる！

今秋、大阪の千里丘陵を中心に行なわれる、全国図書館大会のテーマ等が左記のとおり決まりました。

* 第一日目 全体会(10月25日)
情報新時代の図書館づくりー開
会式・講演会ー(万国博ホール)

* 第二日目 分科会(10月26日)
・ 第1分科会 すべての住民に図書館サービスー公共図書館ー
(共済会館新大阪)

・ 第2分科会 住民参加の図書館づくりー公共図書館ー(新大阪
チサンホテル)

・ 第3分科会 ネットワークの基盤整備のためにー大学図書館ー
(千里協栄生命ホール)

・ 第4分科会 相互協力網を作るためにー短大・高専図書館ー
(北千里センター)

・ 第4分科会 小委員会 図書館業務の簡素化と電算化・高専図書館基準(なにわ会館)

・ 第5分科会 データベースの効用とその評価ー専門図書館ー
(大同生命ホール)

・ 第6分科会 さまざまな障害者へのサービスを追及しよう(豊中市立千里公民館)
・ 第7分科会 児童・青少年の図書館利用とコンピュータ(大阪

府立国際児童文学館)

・ 第8分科会 ニューメディア時代の図書館の自由(千里センター)

・ 第9分科会 図書館員とその形成(新大阪チサンホテル)

・ 第10分科会 図書館資料の保存と利用とをいかに調和させていくか(千里センター)

・ 第11分科会 コンピュータ化の今後を考える(吹田市立千里センター)

* 第三日目 全体会(10月27日)
分科会報告・閉会式(大阪市立労働会館ピロティホール)
* 機器・図書展示(10月25日、27日)
千里センター催会場(サンタウン専門店会展示室)

その他、内容、発表者等詳しいことは、「図書館雑誌」七月号に掲載されることになっていきます。

編集だより
◎役員が大幅に入れ替わり、北から南から新しい顔ぶれで九年目がスタートしました。

◎行事等の案内・写真・新聞記事(コピー)等がありましたらぜひお寄せ下さい。
◎御意見・御感想もお待ちしています。